

## 1. はじめに

東京大学大学院医学系研究科の地域看護学分野は、昨年平成 18 年に発足 15 年目を迎えました。

発足 15 年目の節目として、地域看護学教室同窓会を開催し、これまでに当教室で博士号を取得した修了生から、「博士課程での研究とその後」についてお話をうかがうことができました。修了生が、各分野で活躍している様子を目の当たりにし、大変勇気づけられました。今年の博士課程修了生の有本梓さんが、平成 19 年 4 月から、助教になって働いてくれることになりました。

平成 18 年 4 月からは、東京大学医学系研究科健康科学看護学専攻修士課程に、新たなコースが開設されました。保健師コース、看護師コースです。当教室でも、保健師コースの学生と共に、看護師コース（退院支援）の学生を、修士課程の学生として迎えました。新設コースでは、2 年間の講義・演習・実習を通して、実践力を向上させるとともに、修士論文で実践の問題を探求・解決していく能力を育成することを目指しております。平成 19 年度は、両コースの一期生が修士論文に取り組みます。

当教室の活動成果は、毎年年報としてまとめてきております。本年も、平成 18 年度の活動をまとめることができました。ご高覧いただき、ご助言、ご指導賜りますよう、お願い申し上げます。

平成 18 年 4 月には、介護保険と健康保険の報酬体系が大きく変化し、グループホーム等、多様な場に訪問看護が関わる道も開かれました。平成 20 年度からは、医療保険者による「特定健診・特定保健指導事業」が義務づけられることになっており、保健師による保健指導の理論や技術、評価を行う必要性が増しています。

地域で生活する様々な人々の健康の向上に関連する理論や技術を学問的な側面から明確化していくこと、さらには、地域看護学の研究成果を国際的にも広く提示し、学術面での交流を推進していくことが私共に課せられた役割だと考えます。

教室員一同、研究と教育に、更に努力していきたいと思っています。  
今後とも、ご指導・ご鞭撻の程、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

平成 19 年 4 月

東京大学大学院医学系研究科  
健康科学・看護学専攻地域看護学分野

教授 村嶋幸代

## 2. 研究業績

### (1) 原著・報告

Kyoko Yoshioka-Maeda, Sachiyo Murashima, Kiyomi Asahara

Tacit knowledge of public health nurses in identifying community health problems and the need for new services: multiple case study

International Journal of Nursing Studies, 43(2006), 819-826, 2006

Kyoko Yoshioka-Maeda, Atsuko Taguchi, Sachiyo Murashima, Kiyomi Asahara, Yukiko Anzai, Azusa Arimoto, Toshie Miyazaki, Noriko Sato, Taichi Sakai, Junko Omori

Joan Kathy Magilvy. Function and practice of public health nursing in Japan: a trial to develop the Japanese Purpose-Focused Public Health Nursing Model.

Journal of Nursing Management, 14(2006), 483-489, 2006

Azusa Arimoto, Sachiyo Murashima

Child-rearing Anxiety and Its Correlates Among Japanese Mothers Screened at 18-month Infant Health Checkups  
Public Health Nursing, 24(2), 101-110, 2007

渡井いずみ, 錦戸典子, 村嶋幸代

ワーク・ファミリー・コンフリクト尺度 (Work-Family Conflict Scale: WFCS) 日本語版の開発と検討  
産業衛生学雑誌, 48(3), 71-81, 2006

村山洋史, 田口敦子, 村嶋幸代

健康推進員活動における活動満足感、活動負担感の尺度開発

日本公衆衛生雑誌, 53(12), 875-883, 2006

村山洋史, 田口敦子, 村嶋幸代

健康推進員の持つ地域社会への態度の関連要因 - 経験年数別での検討 -

日本地域看護学会誌, 9(2), 24-31, 2007

### (2) 総説

有本梓

児童虐待に対する保健師活動に関する文献レビュー

日本地域看護学会誌, 9(2), 37-45, 2007

酒井昌子, 宮崎紀枝, 麻原きよみ, 鈴木良美, 安齋ひとみ, 加藤典子, 有本梓, 大森純子, 梅田麻希, 小野若菜子, 小林真朝, 地域看護 CBPR 研究会

Community-Based Participatory Research に関する文献レビュー

看護研究, 39(2), 121-134, 2006

渡井いずみ，錦戸典子，村嶋幸代

ワーク・ファミリー・コンフリクト研究の動向 日本人を対象とした研究を中心に  
産業精神保健，14(4)，199-206，2006

### (3) 解説

村嶋幸代

東京大学大学院修士課程に開設された「保健師コース」の紹介と今後の保健師像  
保健師ジャーナル，62(6)，474-479，2006

鳥海房枝，鳥羽研二，堀内ふき，村嶋幸代，山崎摩耶

座談会「高齢者看護を展望する」

Geriatric Medicine (老年医学)，44(8)，1135-1145，2006

永田智子，村嶋幸代

特集：高齢者看護の現状と展望 - 21世紀は看護の時代 - 介護保険制度と高齢者看護・訪問看護

Geriatric Medicine (老年医学)，44(8)，1045-1049，2006

村嶋幸代

保健師ライセンスの現状と課題

からだの科学〔増刊〕，38-43，2006

村嶋幸代

保健師養成に求められる教育 教育の立場から

INR (インターナショナルナーシングレビュー)，29(5)，32-36，2006

戸村ひかり

在宅ケア経験が豊富な“リエゾンナース”を中心に病院全体で行う退院支援

コミュニティケア，9(3)，33 - 37，2007

### (4) 著書

大内尉義編集．

日常診療に活かす老年病ガイドブック 8．高齢者の退院支援と在宅医療．

東京：メジカルビュー社，2006．

鷺見尚己，村嶋幸代．対象者のスクリーニング (pp.8-12)

永田智子，村嶋幸代．ニーズのアセスメント (pp.13-16)

永田智子．退院支援のプランニング (pp.17-21)

永田智子．フォローアップの意義と実際 (pp.22-26)

村嶋幸代，永田智子(分担執筆)

第5章 退院支援と看護情報・看護と情報科学（永井良三監修）

東京：杏林図書，2006，66-87

## （5）報告書

村嶋幸代，川越博美，田上豊，岡本玲子，田口敦子，永田智子

厚生労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業「24時間訪問介護・看護の効果的・効率的な実施方法の開発研究 夜間・早朝の訪問看護必要者の発見と提供方法の標準化」

平成17年度総括研究報告書，2006年3月

村嶋幸代，野中博，小川忍，上野桂子，野口美和子，田代祐基，山本春江，上原ます子，波多野浩道，中川泉，春山早苗，川崎道子，井上弘子，雨宮きよ子，中尾八重子，永田智子，田口敦子，近藤由生子

厚生労働省老人保健事業推進費等補助金事業 老人保健健康増進等事業「地域特性に応じた訪問看護ステーションの機能・役割に関する検討」

平成17年度報告書，2006年3月

菅田勝也，数間恵子，大江和彦，河正子，春名めぐみ，美代賢吾，杉下知子，上別府圭子，綿貫成明，柏木公一，佐々木美奈子，武村雪絵，村嶋幸代，大内尉義，萱間真美，永田智子

看護情報の活用を通じた看護の質の向上に関する研究

平成15-16年度科学研究費補助金基盤研究（A）（2）研究成果報告書，2006年3月

## （6）学会発表

長弘佳恵，村嶋幸代，佐伯輝子，大谷すみれ，豊澤隆弘

不安定就労・生活者にとってのDOTSの意味

第81回日本結核病学会総会，宮城県 仙台国際センター，2006年4月27日-28日

渡井いずみ，錦戸典子，村嶋幸代

日本人を対象としたワーク・ファミリー・コンフリクト研究の動向 文献検討結果より

第79回日本産業衛生学会，仙台，仙台国際センター，2006年5月9日-12日

渡井いずみ，錦戸典子，村嶋幸代

未就学児を持つITエンジニアの精神健康度とその関連要因について

男女比較を中心にー

第13回日本産業精神保健学会，東京，都市センターホテル，2006年6月2日-3日

Minako Kyoya , Noriko Nishikido , Izumi Watai

Current status and future direction of occupational health nursing practices in workplace mental health promotion in Japan.

28<sup>th</sup> International Congress on Occupational Health , Milan. Fiera Milano Congressi Center , Italy , June 11-16 , 2006

村嶋幸代 , 田口敦子 , 九里美和子 , 布施千加子 , 神山芳美 , 石原仁 , 南千佳子 , 千代妙子 , 堀井とよみ

計画的な夜間・早朝の訪問看護の提供効果に関する研究

日本地域看護学会第9回学術集会 , 埼玉県 国立保健医療科学院 , 2006年7月29日-30日

永田智子 , 村嶋幸代

退院支援の実施内容と支援への患者の満足度に関する調査

第9回日本地域看護学会学術集会 . 埼玉県 国立保健医療科学院 , 2006年7月29日-30日

田口敦子 , 村山洋史 , 柳修平 , 永田智子 , 堀井とよみ , 村嶋幸代

市町村合併直後の高齢者保健福祉サービスへの住民意識に関する研究

日本地域看護学会第9回学術集会 , 埼玉県 国立保健医療科学院 , 2006年7月29日-30日

有本梓 , 田口敦子 , 村嶋幸代 , 浦野真紀子 , 伊東由賀

児童虐待事例での初動期における保健所保健師の支援技術に関する事例研究

日本地域看護学会第9回学術集会 , 埼玉県 国立保健医療科学院 , 2006年7月29日-30日

鈴木良美 , 酒井昌子 , 大森純子 , 麻原きよみ , 梅田麻希 , 安齋ひとみ , 宮崎紀枝 , 有本梓 , 加藤典子  
CBPR(Community Based Participatory Research)に関する文献の統合的レビュー(第1報) - 方法 , 結果の全体像 , 定義 -

日本地域看護学会第9回学術集会 , 埼玉県 国立保健医療科学院 , 2006年7月29日-30日

安齋ひとみ , 酒井昌子 , 宮崎紀江 , 大森純子 , 麻原きよみ , 鈴木良美 , 有本梓 , 加藤典子 , 梅田麻希  
CBPR(Community-Based Participatory Research) に関する文献の統合的レビュー(第2報) - CBPRの目的と原則 -

日本地域看護学会第9回学術集会 , 埼玉県 国立保健医療科学院 , 2006年7月29日-30日

宮崎紀枝 , 酒井昌子 , 大森純子 , 麻原きよみ , 鈴木良美 , 梅田麻希 , 有本梓 , 加藤典子 , 安齋ひとみ  
CBPR(Community-Based Participatory Research)の日本の保健活動への適用可能性に関する文献的考察(第3報) - プロセスと技術 -

日本地域看護学会第9回学術集会 , 埼玉県 国立保健医療科学院 , 2006年7月29日-30日

加藤典子, 有本梓, 麻原きよみ, 安齋ひとみ, 酒井昌子, 宮崎紀枝, 大森純子, 鈴木良美, 梅田麻希  
CBPR (Community-Based Participatory Research) の日本の保健活動への適用可能性に関する文献的考察  
(第4報) - CBPR のアウトカムと課題 -

日本地域看護学会第9回学術集会, 埼玉県 国立保健医療科学院, 2006年7月29日-30日

村山洋史, 田口敦子, 村嶋幸代, 柳修平

経験年数別にみた健康推進員の活動満足感とその関連要因

第9回日本地域看護学会, 埼玉県 国立保健医療科学院, 2006年7月29日-30日

長弘佳恵, 村嶋幸代

Direct Observed Treatment, Short-course(DOTS)を受療する不安定就労・生活者にとってのDOTSの意味

第9回日本地域看護学会, 埼玉県 国立保健医療科学院, 2006年7月29日-30日

小山幸代, 小林小百合

認知症高齢者グループホーム利用者の2年間の精神状態, 日常生活動作自立度の変化と関連要因

第32回日本看護研究学会学術集会, 大分県 別府市ビーコンプラザ, 2006年8月25日

Uayan MLT, Honda A, Murayama H, Murashima S

Access to Health of Filipino Migrants in Japan

Geneva Forum, Geneva, Centre International de Conférences de Genève, August 30-September 1 2006

鈴木樹美, 永田智子, 戸村ひかり, 村嶋幸代, 鷺見尚己

地域病院における退院支援の実施および退院患者の状況(第1報) 退院支援を実施された患者の特徴と支援に対する満足度

第44回日本病院管理学会学術総会, 愛知県 名古屋国際会議場, 2006年10月19日-20日

永田智子, 戸村ひかり, 鈴木樹美, 村嶋幸代, 鷺見尚己.

地域病院における退院支援の実施および退院支援患者の状況(第2報) 退院後の患者が有する不安・困り事

第44回日本病院管理学会学術総会, 愛知県 名古屋国際会議場, 2006年10月19日-20日

村嶋幸代, 関根綾希子, 深町美那穂

東大大学院修士課程「保健師コース」での実習の概要

第65回日本公衆衛生学会総会, 富山県 富山県民会館・富山国際会議場, 2006年10月25日-27日

永田智子, 田口敦子, 近藤由生子, 山本春江, 中川泉, 春山早苗, 雨宮きよ子, 上原ます子, 中尾八重子, 波多野浩道, 川崎道子, 木全真理, 村嶋幸代

地域特性に応じた訪問看護ステーションの機能・役割に関する検討(第1報)

第65回日本公衆衛生学会総会, 富山県 富山県民会館・富山国際会議場, 2006年10月25日-27日

田口敦子，永田智子，近藤由生子，山本春江，中川泉，春山早苗，雨宮きよ子，上原ます子，中尾八重子，波多野浩道，川崎道子，木全真理，村嶋幸代  
地域特性に応じた訪問看護ステーションの機能・役割に関する検討（第2報）  
第65回日本公衆衛生学会総会，富山県 富山県民会館・富山国際会議場，2006年10月25日-27日

雨宮きよ子，近藤由生子，永田智子，田口敦子，山本春江，中川泉，春山早苗，上原ます子，中尾八重子，波多野浩道，川崎道子，木全真理，村嶋幸代  
地域特性に応じた訪問看護ステーションの機能・役割に関する検討（第3報）  
第65回日本公衆衛生学会総会，富山県 富山県民会館・富山国際会議場，2006年10月25日-27日

中尾八重子，永田智子，田口敦子，近藤由生子，山本春江，中川泉，春山早苗，雨宮きよ子，上原ます子，波多野浩道，川崎道子，木全真理，村嶋幸代  
地域特性に応じた訪問看護ステーションの機能・役割に関する検討（第4報）  
第65回日本公衆衛生学会総会，富山県 富山県民会館・富山国際会議場，2006年10月25日-27日

波多野浩道，永田智子，田口敦子，近藤由生子，山本春江，中川泉，春山早苗，雨宮きよ子，上原ます子，中尾八重子，川崎道子，木全真理，村嶋幸代  
地域特性に応じた訪問看護ステーションの機能・役割に関する検討（第5報）  
第65回日本公衆衛生学会総会，富山県 富山県民会館・富山国際会議場，2006年10月25日-27日

村山洋史，田口敦子，村嶋幸代，柳修平  
経験年数別にみた健康推進員の活動負担感とその関連要因  
第65回日本公衆衛生学会総会，富山県 富山県民会館・富山国際会議場，2006年10月25日-27日

長弘佳恵，小林小百合，村嶋幸代  
DOTS 受療者の経験 不安定就労・生活者にとってのDOTSの意味  
第65回日本公衆衛生学会総会，富山県 富山県民会館・富山国際会議場，2006年10月25日-27日

山本由実子，板垣貴志，山崎喜比古，郡司篤晃，大宮朋子，松本佳子，望月美栄子，瀬戸山陽子，鶴岡雅誉，横山由香里，湯川慶子，吉川真祐子，関根綾希子，野尻直美，渡邊麻衣子  
「健康図書室」と患者の医療情報ニーズに関する研究 第2報：患者のニーズ調査  
第65回日本公衆衛生学会総会，富山県 富山県民会館・富山国際会議場，2006年10月25日-27日

Murayama H，Taguchi A，Murashima S，Ryu S  
Related Factors to Satisfaction and Burden on the Activities of Health Promotion Volunteers by Years of Membership  
The 134th Annual Meeting of the American Public Health Association，Boston，Boston Convention and Exhibition Center，November 4-8 2006

深町美那穂, 井ノ口珠喜, 高橋都, 斉藤民, 大久保豪, 滝澤彩子, 飯塚愛恵, 井上陽介, 越智真奈美,  
黒田光代, 甲斐一郎

育児就労女性の性的満足度の関連要因に関する調査研究

第71回日本民族衛生学会総会, 沖縄県 沖縄県立看護大学, 2006年11月9日-10日

田口敦子, 永田智子, 村嶋幸代

地域在住の居宅介護支援事業所利用者の実態調査(第1報)利用者特性と訪問看護利用との関係

第26回日本看護科学学会学術会議, 兵庫県 神戸国際展示場・神戸国際会議場,

2006年12月2日-3日

永田智子, 田口敦子, 村嶋幸代

地域在住の居宅介護支援事業所利用者の実態調査(第2報)訪問看護の必要性和実際の利用との関係

第26回日本看護科学学会学術会議, 兵庫県 神戸国際展示場・神戸国際会議場,

2006年12月2日-3日

村山洋史, 田口敦子, 村嶋幸代

健康推進員の持つコミュニティ意識の経験年数別での関連要因の検討

第26回日本看護科学学会学術会議, 兵庫県 神戸国際展示場・神戸国際会議場,

2006年12月2日-3日

## (7) シンポジウム・セミナー等

村嶋幸代 (演者)

第81回日本結核病学会公開シンポジウム

結核の保健・看護に求められる教育の課題 新任・現任教育の現状と課題を考える

宮城県 仙台国際センター, 2006年4月28日

小林小百合 (講師)

平成18年度横浜市認知症介護実践研修(実践者)「家族の理解・高齢者との関係理解」

神奈川県 ウィリング横浜, 2006年5月11日, 10月6日, 2007年1月18日

村嶋幸代 (講師)

世田谷区地域包括センター定例会

「地域包括支援センターにおける地区診断」・地域を知ること・社会資源について

東京都 デイホーム世田谷, 2006年5月25日

村嶋幸代 (講師)

平成18年度日本看護協会全国保健師職能集会

基礎教育の現状と課題 保健師の専門性の確立に向けて

東京都 東京ビックサイト, 2006年5月26日



村嶋幸代 (講師)

保健師のための研修会

地域看護実践 保健師としての責任を果たすために

北海道 北海道札幌市教育文化会館, 2006年7月8日

村嶋幸代 (講師)

第32回神経研夏のセミナー

保健師職能の専門性と地域保健活動

東京都 東京都神経科学総合研究所, 2006年7月12日

小林小百合 (講師)

平成18年度横浜市認知症介護実践研修 (実践リーダー)

「家族支援の方策」「地域資源の活用」

神奈川県 ウィリング横浜, 2006年7月13日

村嶋幸代 (講師)

日本赤十字九州国際看護大学特別講演 & F D

保健師活動の醍醐味, 看護基礎教育の充実をめぐる国の動向, そして東大看護の考えていること

福岡県 日本赤十字九州国際看護大学, 2006年7月20日

Murashima S (講演)

Reserch Unit of Nursing Clinical

Long term care in Japan

University of Southern Denmark, 2006.8.9

田口敦子 (講演)

平成18年度中国・四国地区保健師教育機関協議会研修会

目的重視型保健師活動モデルについて

岡山県 国際学术交流センター・加計研修センター, 2006年8月4日

村嶋幸代 (講師)

第32回日本看護研究学会学術集会のジョイント講演

少子高齢者社会で看護が果たす役割

大分県 別府市ビーコンプラザ, 2006年8月25日

村嶋幸代 (助言者)

訪問看護推進検討会ワーキンググループ部会

巡回型等訪問看護サービス検証事業の実施について・その他

兵庫県 兵庫県民会館, 2006年9月21日

村嶋幸代（講師）

保健師職能研修会

それぞれの職域における連携のあり方について

求められる調整・ネットワーク化に資する機能とは

福岡県 福岡県看護等研究研修センター，2006年10月21日

村嶋幸代（事例発表会座長及び意見交換会コメンテーター）

地域包括センターにおける効果的な地域包括支援体制の在り方に関する調査研究

東京都 コープビル（千代田区），2006年11月10日

村嶋幸代（講師）

「第12回訪問看護・在宅ケア研究交流集会」研究発表会

東京都 TFTビル，2006年11月24日

小林小百合（講師）

平成18年度第6回神奈川県認知症高齢者グループホーム協議会研修会

「グループホームでの終末期ケア 今わたしたちにできること」

神奈川県 横浜市健康福祉総合センター，2006年11月25日

村嶋幸代（講師）

地域包括支援センター介護予防ケアマネジメント定例会

地域包括センターにおける地区診断

東京都 世田谷区役所，2006年11月27日

村嶋幸代（講師）

平成18年度管内保健師リーダー研修

保健福祉活動の変革期における保健師リーダーの役割について

新潟県 上越地域振興局健康福祉環境部，2006年12月7日

村嶋幸代（講師）

保健師職能集会

集まろう！話そう！保健師の未来を！

宮崎県 宮崎県総合保健センター，2006年12月16日

小林小百合（講師）

平成18年度横浜市認知症介護サービス事業開設者研修「家族の理解・高齢者との関係理解」

神奈川県 ウィリング横浜，2007年2月16日

村嶋幸代（講師）  
地域づくりモデル事業  
地域包括センターにおける地域づくりについて  
東京都 世田谷区役所，2007年2月22日

村嶋幸代（講師）  
地域包括支援センターにおける地域づくり（保健師活動）の意見交換会  
地域包括支援センターにおける保健師の役割について  
静岡県 静岡県看護協会，2007年3月5日

渡井いずみ（講師）  
職場の精神衛生研究会  
「ワーク・ファミリー・コンフリクトの動向 日本人を対象とした研究を中心に」  
静岡県，水葉亭，2007年3月10日～11日

村嶋幸代（講師）  
平成18年度中国・四国地区保健師教育機関協議会教育研究会  
これからの保健師教育  
岡山県 国際学术交流センター，2007年3月24日

村嶋幸代（講師）  
公衆衛生国際シンポジウム2007  
「社会格差と健康」  
東京都 東京大学医学部鉄門記念講堂，2007年3月26日

## （8）その他

村嶋幸代  
「全保連，地域包括センター事例報告会」 - 先駆的活動を共有 - 意見交換会  
週刊保健衛生ニュース，vol.1383，p41，2006年11月20日

村嶋幸代  
「在宅を支える・訪問看護ステーション」夜間対応  
域内で連携 - 過疎地ほど手薄 大きい地域格差 -  
読売新聞夕刊，2006年12月6日，p6

村嶋幸代  
「高齢者看護を考える」地域全体を看護したい - 高齢社会見据えた対応を -  
東大新報，第997号，p3，2007年2月5日

宇都宮宏子，角田直枝，永田智子，村上紀美子．

座談会

病院・地域の看護職の協働でよりよい退院支援を スムーズな退院支援のためにできること．  
コミュニティケア，9(3)，14-21，2007

### 3. 研究活動

(1) 抄読会 (毎週火曜日) 前期 2006.4/11 ~ 7/11, 後期 9/19 ~ 2007.3/13

4月11日 オリエンテーション

村嶋幸代: 平成18年度の開始に当たって - 地域看護学教室の目指すものと基本的事項 -

4月18日

大田えりか (文献紹介): Maki M, Masahide O, Tastuya T, Akira F, Nobuyuki M, Hirohisa K. Prepregnancy Body Mass Index as an Important Predictor of Perinatal Outcomes in Japanese. Archives of Gynecology & Obstetrics, 271: 311-315, 2005. (クリティーク 小林)

中山香映: 修士論文経過報告

4月25日

村山洋史 (文献紹介): Chen MY, Wang EK, Yang RJ, Liou YM. Adolescent Health Promotion Scale: Development and Psychometric Testing. Public Health Nursing, 20(2): 104-110, 2003. (クリティーク 渡井)

福井郁子: 修士論文経過報告

5月9日

渡辺悦子 (文献紹介): Whitaker RC, Wright JA, Pepe MS, Seidel KD, Dietz WH. Predicting Obesity in Young Adulthood from Childhood and Parental Obesity. The New England Journal of Medicine, 337(13): 869-873, 1997. (クリティーク 大田)

小林小百合 (文献紹介): Franka JMM, Martin GK, Willem T, Cees J, Rose-Marie D. The Emotional Impact of Psychiatric Symptoms in Dementia on Partner Caregivers: Do Caregiver, Patient, and Situation Characteristics Make a Difference? Alzheimer Disease & Associated Disorders, 19(4): 195-201, 2005. (クリティーク 田口)

5月16日

松崎政代 (文献紹介): Rudra CB, Williams MA, Lee IM, Miller RS, Sorensen TK. Perceived Exertion during Prepregnancy Physical Activity and Preeclampsia Risk. Medicine & Science in Sports & Exercise, 37(11): 1836-1841, 2005. (クリティーク 村山(洋))

春名めぐみ, 渡辺悦子 (話題提供): 乳児を抱える母親への健康生活プログラムとその効果  
- 地域でのランダム化対照試験 -

5月23日

渡井いずみ (文献紹介): Kovner C, Brewer C, Youw-WW, Cheng Y, Suzuki M. Factors Associated with Work Satisfaction of Registered Nurses. Journal of Nursing Scholarship, 38 (1): 71-79, 2006. (クリティーク 永田)

田口敦子, 村嶋幸代, 永田智子 (話題提供): 地域特性に応じた訪問看護ステーションの機能・役割に関する検討研究事業

5月30日

関根綾希子(文献紹介) : Lach HW. Incidence and Risk Factors for Developing Fear of Falling in Older Adults. *Public Health Nursing*, 22(1): 45-52, 2005. (クリティーク 村嶋)

松崎政代 : 博士論文経過報告

6月6日

深町美那穂 (文献紹介) : Ozcakav ZB, Sahin F, Beyzova U, Soysal S. Physical and Mental Development of Turkish Twins. *Pediatric International*, 45: 712-718, 2003. (クリティーク 横山)

鈴木美恵子 (文献紹介) : Lommatzsch M, Hornych K, Zingler C, Schuff-Werner P, Hoppner J, Virchow JC. Maternal Serum Concentrations of BDNF and Depression in the Perinatal Period. *Psychoneuroendocrinology*, 31(3): 388-394, 2006. (クリティーク 渡辺)

6月13日

野尻直美 (文献紹介) : Ekwall AK, Sivberg B, Hallberg IR. Loneliness as a Predictor of Quality of Life among Older Caregivers. *Journal of Advanced Nursing*, 49(1): 23-32, 2005. (クリティーク 松崎)

戸村ひかり (文献紹介) : Hall JA, Altmann D. Which Terminally Ill Cancer Patients in the United Kingdom Receive Care from Community Specialist Palliative Care Nurse? *Journal of Advanced Nursing*, 32(4): 799-806, 2000. (クリティーク 村山(陵))

6月20日

渡邊麻衣子 (文献紹介) : Sawatzky JV, Naimark BJ. Cardiovascular Health Promotion in among Women: Validating a Population Health Approach. *Public Health Nursing*, 22 (5): 379-388, 2005 (クリティーク 春名)

中山香映 : 修士論文経過報告

6月27日

松永篤志 (文献紹介) : Cook JA, Grey BA, Burke J, Cohen MH, Gurtman AC, Richardson JL, Wilson TE, Young MA, Hessol NA. Depressive Symptoms and AIDS-Related Mortality among a Multisite Cohort of HIV-Positive Women. *American Journal of Public Health*, 94(7): 1133-1140, 2004. (クリティーク 村山(洋))

有本梓 : 博士論文経過報告

7月4日

鈴木樹美 (文献紹介) : Callahan CM, Boustani MA, Unverzagt FW, Austrom MG, Damush TM, Perkins AJ, Fultz BA., Hui SL, Counsell SR, Hendrie HC. Effectiveness of Collaborative Care for Older Adults with Alzheimer Disease in Primary Care: A Randomized Controlled Trial. *JAMA*, 295(18): 2148-2157, 2006. (クリティーク 永田)

福井郁子 : 修士論文経過報告

7月11日

木村直子(文献紹介): Ott CH, Plach SK, Hewitt JB, Cashin SE, Kelber S, Cisler RA, Weis JM. Smoking-Related Health Behaviors of Employees and Readiness to Quit: Basis for Health Promotion Intervention. *American Association of Occupational Health Nurse*, 53(6): 249-256, 2005.

(クリティーク 大田)

村嶋幸代, 永田智子, 田口敦子, 村山洋史: 第9回日本地域看護学会学術集会予行

9月19日

渡邊麻衣子(文献紹介): Loeb M, Carusone SC, Goeree R, Walter SD, Brazil K, Krueger P, Simor A, Moss L, Marrie T. Effect of a Clinical Pathway to Reduce Hospitalizations in Nursing Home Residents with Pneumonia: A Randomized Controlled Trial. *JAMA*, 295(21): 2503-2510, 2006. (クリティーク 鈴木)

村嶋幸代(話題提供): デンマーク訪問

9月26日

渡井いずみ(文献紹介): Jansen NWH, Kant IJ, van Amelsvoort LGP, Kristensen TS, Swaen GMH, Nijhuis FJN. Work-Family Conflict as a Risk Factor for Sickness Absence. *Occupational and Environmental Medicine*, 63: 488-494, 2006. (クリティーク 村山(洋))

松崎政代(文献紹介): Hyrkas K, Appelqvist-Schmidlechner K, Paunonen-Ilmonen M. Translation and Validating the Finnish Version of the Manchester Clinical Supervision Scale. *Scandinavian Journal of Caring Sciences*, 17: 358-364, 2003. (クリティーク 春名)

10月3日

村山洋史(文献紹介): Earp JA, Eng E, O'Malley MS, Altpeter M, Rauscher G, Mayne L, Mathews HF, Lynch KS, Qaqish B. Increasing Use of Mammography among Older, Rural African American Women: Results from a Community Trial. *American Journal of Public Health*, 92(4): 646-654, 2002. (クリティーク 小林)

福井郁子: 修士論文経過報告

10月10日

松永篤志(文献紹介): Paul IM, Phillips TA, Widome MD, Hollenbeak CS. Cost-Effectiveness of Postnatal Home Nursing Visits for Prevention of Hospital Care for Jaundice and Dehydration. *Pediatrics*, 114(4): 1015-1022, 2004. (クリティーク 戸村)

中山香映: 修士論文経過報告

10月17日

関根綾希子(文献紹介): Campbell SI, Fowles ER, Weber BJ. Organizational Structure and Job Satisfaction in Public Health Nursing. *Public Health Nursing*, 21(6): 564-572, 2004. (クリティーク 深町)

村嶋幸代, 永田智子, 田口敦子, 村山洋史, 関根綾希子, 深町美那穂: 第65回日本公衆衛生学会予行  
永田智子, 鈴木樹美: 第44回日本病院管理学会学術総会予行

10月24日

小林小百合(文献紹介): Long AF, Kneafsey R, Ryan J, Berry J. The Role of the Nurse within the Multi-Professional Rehabilitation Team. *Journal of Advanced Nursing*, 37: 70-78, 2002.(クリティーク 野尻)  
村山陵子, 渡辺悦子, 本田由佳: 第47回母性衛生学会予行

10月31日

渡辺悦子(文献紹介): Danger ML, Gleason JA, Griffith JL, Selker HP, Schaefer EJ. Comparison of the Atkins, Ornish, Weight Watchers, and Zone Diets for Weight Loss and Heart Disease Risk Reduction. *JAMA*, 293(1): 43-45, 2005.(クリティーク 渡邊)  
大田えりか: 博士論文経過報告

11月7日

戸村ひかり(文献紹介): Suzanne EJ, Francke AL, Hutten JBF. Liaison Nursing for Stroke Patients: Results of a Dutch Evaluation Study. *Journal of Advanced Nursing*, 32(2): 292-300, 2000.(クリティーク 関根)  
戸村ひかり, 鈴木樹美: 修士論文経過報告

11月14日

永田智子(文献紹介): Coleman EA, Smith JD, Frank JC, Min SJ, Parry C, Kramer AM. Preparing Patients and Caregivers to Participate in Care Delivered across Settings: The Care Transitions Intervention. *Journal of American Geriatrics Society*, 52(11): 1817-1825, 2004.(クリティーク 松崎)  
野尻直美, 渡邊麻衣子: 修士論文経過報告

11月21日

深町美那穂(文献紹介): Benzie KM, Harrison MJ, Magill-Evance J. Parenting Stress, Marital Quality, and Child Behavior Problems at Age 7 Years. *Public Health Nursing*, 21(2): 111-121, 2004.(クリティーク 村山(陵))  
関根綾希子: 修士論文経過報告  
春名めぐみ: 第26回日本看護科学学会学術集会予行

11月28日

福井郁子, 中山香映: 修士論文経過報告

12月5日

野尻直美(文献紹介): Holzemer WL, Bakken S, Portillo CJ, Grimes R, Welch J, Wantland D, Mullan JT. Testing a Nurse-Tailored HIV Medication Adherence Intervention. *Nursing Research*, 55(3): 189-197.(クリティーク 松永)  
鈴木樹美(文献紹介): Holland DE, Harris MR, Leibson CL, Pankratz VS, Krichbaum KE. Development and Validation of a Screen for Specialized Discharge Planning Services. *Nursing Research*, 55(1): 62-71, 2006.(クリティーク 渡井)



12月12日

大田えりか(文献紹介): Villamor E, Cnattingius S. Interpregnancy Weight Change and Risk of Adverse Pregnancy Outcomes: A Population-Based Study. Lancet, 368: 1164-1170, 2006. (クリティーク 田口)  
深町美那穂, 松永篤志: 修論論文経過報告

12月19日

島村珠枝: 卒業論文経過報告  
小林小百合, 渡井いずみ: 博士論文経過報告

1月9日

福井郁子, 中山香映: 修士論文経過報告

1月16日

関根綾希子, 深町美那穂: 保健師コース実習報告

1月23日

福井郁子, 中山香映: 修士論文発表予行

1月30日

福井郁子, 中山香映: 修士論文発表予行

2月6日

戸村ひかり, 鈴木樹美: 修士論文経過報告

2月20日

渡井いずみ: 博士論文経過報告  
関根綾希子, 渡邊麻衣子: 修士論文経過報告

3月6日

村山洋史: 博士論文経過報告  
深町美那穂, 松永篤志: 修士論文経過報告

3月13日

小林小百合, 松崎政代: 博士論文経過報告  
野尻直美: 修士論文経過報告

## (2) 研究会

	日程	講師およびテーマ (敬称略)
第128回	2006年 4月21日	吉池 由美子(三菱総合研究所 社会システム研究本部) 「介護保険の制度改正の焦点」
第129回	4月25日	吉池 由美子(三菱総合研究所 社会システム研究本部) 「地域包括支援センターについて」
第130回	5月9日	吉池 由美子(三菱総合研究所 社会システム研究本部) 「介護保険制度改正による報酬改訂の変更について」
第131回	5月19日	田上 豊(三菱総合研究所 社会システム研究本部) 「医療保険の制度改正の焦点」
第132回	5月31日	田上 豊(三菱総合研究所 社会システム研究本部) 「医療保険制度改革による報酬改訂の変更について」
第133回	6月16日	佐藤 元(東京大学大学院 医学系研究科) 「政策の概念と評価：政策科学の枠組み」
第134回	7月15日	博士課程卒業生 「私の博士論文とその後」
第135回	9月29日	勝又 浜子(厚生労働省 健康局総務課 保健指導室) 「最新の地域保健の動向と保健師活動」
第136回	10月6日	宮崎 美砂子(千葉大学看護学部 地域看護学教育研究分野) 「保健師による保健師助の動向と課題」
第137回	10月13日	高橋 紘士 (立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科 コミュニティ福祉学部) 「地域包括支援センターの政策理念のその展開」
第138回	12月15日	青木 則明 (東京大学医学部附属病院大学病院医療情報ネットワーク研究センター) 「情報と意思決定」
第139回	2007年 2月23日	神野 直彦(東京大学大学院 経済学研究科) 「日本の社会保障の課題と展望」
第140回	3月7日	Lis Wagner (University of Southern Denmark) Integrating Nursing Home with Community Care in Denmark. 「施設ケアとコミュニティの融合」

### (3) 地域看護学教室同窓会

平成 18 年 7 月 15 日 (土) 13:00 - 16:45 東京大学医学部教育新棟 第 6 セミナー室  
テーマ「私の博士論文とその後」

- 1 大島 浩子 先生 (慶応義塾大学 看護医療学部)  
The Catherine Bergego Scale 日本語版の有用性の検討  
- 半側空間無視を有する脳卒中患者の生活障害の変化と評価 -
- 2 永田 智子 先生 (東京大学大学院 医学系研究科)  
高齢患者が退院前・退院後に有する不安・困り事とその関連要因
- 3 小西 かおる 先生 (昭和大学 保健医療学部)  
難病看護との出会い
- 4 本田 亜起子 先生 (神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部)  
夫婦のみ世帯における老老介護 - 夫介護者による食事の支度に焦点をあてて -
- 5 蔭山 正子 先生 (さいたま市保健所 地域保健課)  
精神障害者家族会の研究から精神保健の現場へ
- 6 上野 昌江 先生 (大阪府立大学 看護学部)  
周産期からの養育支援プログラム導入による児童虐待予防に関する研究
- 7 吉岡 京子 先生 (杉並区 杉並保健所 保健予防課)  
保健師によるボトムアップ型の事業化のプロセスとその関連要因の検討
- 8 佐伯 和子 先生 (北海道大学 医学部)  
保健師のキャリア発達と現任教育
- 9 萱間 真美 先生 (聖路加看護大学)  
精神科訪問看護の仕事 - 精神科医療システムの変化の中で -

### (4) 研究プロジェクト

村嶋幸代, 川越博美, 田上豊, 田口敦子, 近藤由生子, 永田智子

24 時間訪問介護・看護の効果的・効率的な実施方法の開発研究—夜間・早朝の訪問看護必要者の発見と提供方法の標準化—

平成 15-18 年度厚生労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業 (研究代表者: 村嶋幸代)

村嶋幸代, 永田智子, 田口敦子, 近藤由生子, 小林小百合

認知症高齢者への訪問看護に焦点をあてた, 看護の予防機能の解明に関する研究

平成 17, 18 年度 文部科学省・科学研究費 (萌芽)

村嶋幸代, 中川俊男, 小川忍, 上野桂子, 野川とも江, 田代祐基, 山本春江, 上原ます子, 波多野浩道, 中川泉, 春山早苗, 川崎道子, 井上弘子, 雨宮きよ子, 北村久美子, 近藤由生子, 永田智子, 田口敦子, 田上豊

訪問看護サービスの需要と供給に関する研究. 平成 18 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業

村嶋幸代，永田智子，小林小百合

認知症高齢者グループホームにおけるケアの質に関する研究，日常生活における自立性の低下と提供されているケアに焦点をあてて

平成 18 年 10 月～平成 19 年 6 月 ジェロントロジー寄付研究部門モジュール研究助成

錦戸典子，村嶋幸代，田口敦子，永田智子，麻原きよみ，安齋由貴子，蔭山正子，都筑千景，吉岡京子，有本梓，武内奈緒子，渡井いずみ，他

保健師活動におけるグループ支援およびコミュニティ支援プロセスの標準化 アウトカム評価尺度の開発を含めて

平成 15-18 年度科学研究費補助金基盤研究 ( B ) ( 2 ) ( 研究代表者：錦戸典子 )

数間恵子，菅田勝也，村嶋幸代，真田弘美，須釜淳子，河正子，田高悦子，宮下光令，佐々木美奈子，永田智子，伊藤直美，武村雪絵，鷺見尚己，田口敦子

病院看護の予防機能発揮による効果的・効率的医療の提供に関する研究

平成 16-18 年度科学研究費補助金基盤研究 ( A ) ( 2 ) .

菅田勝也，数間恵子，村嶋幸代，真田弘美，田高悦子，佐々木美奈子，武村雪絵，伊藤直美，田口敦子，永田智子，北川敦子，吉岡京子，有本梓

看護の人材資産形成のためのコンピテンシーとキャリア発達過程の体系化

平成 17-20 年度科学研究費補助金基盤研究 ( A ) ( 2 )

永田智子

入院患者の状況の変化に即した退院支援スケジュールの作成及び退院支援内容の標準化

平成 16-18 年度科学研究費補助金若手研究 ( B ) .

永田智子，鷺見尚己

利用者の視点に基づく医療連携・退院支援のアウトカム指標の開発 ケアの場の移行に伴って発生する患者・家族の療養生活上のニーズに焦点をあてて

平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金医療安全・医療技術評価総合研究事業 ( H18-医療-若手-001 )

松下正明，天本宏，上野桂子，宇都宮宏子，織田正道，神津仁，迫田朋子，佐藤美穂子，鷺見よしみ，取手涼子，古橋美智子，武藤正樹，村上紀美子，村嶋幸代，秋山正子，大谷明子，角田直枝，長江弘子，永田智子，丸山恵理，戸村ひかり，鈴木樹美

退院準備から在宅ケアを結ぶ支援 ( リエゾンシステム ) のあり方に関する研究

平成 18 年度未来志向プロジェクト

田口敦子

住民組織ネットワークを測定するための尺度開発

平成 17-18 年度科学研究費補助金若手研究 ( B )

渡井いずみ

両親の就業が養育態度に及ぼす影響について 低学年の学童期に焦点を当てて一

2006 年度（財）明治安田こころの健康財団研究助成 社会学・社会福祉学的研究（研究代表者：渡井いずみ）

渡井いずみ

事業場における子育て支援活動への産業看護職の取り組みとその評価

第 16 回（平成 18 年度）山路ふみ子専門看護教育研究助成（研究代表者：渡井いずみ）

## (5) 教室内勉強会

地域看護学教室勉強会(尺尺会) (不定期 1時間30分~2時間程度)

---

第46回	6月5日	村山洋史：「修士課程を振り返って」
第47回	6月14日	小林小百合, 渡井いずみ：「修士課程を振り返って」
第48回	9月15日	福井郁子：「修論進捗状況報告」
第49回	11月17日	村山洋史：「研究計画書/論文の書き方について」 小林小百合, 村山洋史：「倫理審査申請について」 渡井いずみ：「研究助成について」 福井郁子：「修論進捗状況報告」
第50回	12月26日	福井郁子：「修論進捗状況報告」
第51回	12月28日	福井郁子：「修論進捗状況報告」
第52回	1月4日	福井郁子：「修論進捗状況報告」

---

地区診断勉強会 (9月8日 単発 2時間程度)

- ・玉川プランについて(村嶋・深町・渡邊・田口)
- ・これまでの蓄積1：Advanced Community Health Nursing Practice  
Assessment(田口)  
Planning(野尻)  
Implementation(渡邊)  
Evaluation(松永)
- ・これまでの蓄積2：Community As Partner(小林・渡井・永田)

**Nursing Research 勉強会** (7月24日～9月25日 毎週月曜日 1時間半～2時間)

テキスト：Polit DF, Beck CT. Nursing Research 7<sup>th</sup> ed. Philadelphia: Lippincott Williams & Wilkins, 2004

日程	テーマ	担当
第1回 7月24日	第2章 Key Concepts and Terms in Quantitative and Qualitative Research	渡井・渡邊
	第3章 Overview of the Research Process in Qualitative and Quantitative Studies	村山・関根
第2回 7月31日	第4章 Research Problems, Research Questions, and Hypotheses	戸村・鈴木
	第5章 Reviewing the Literature	永田・野尻
第3回 8月7日	第8章 Designing Quantitative Studies	小林・戸村
	第9章 Enhancing Rigor in Quantitative Research	村山・深町
	第10章 Quantitative Research for Various Purposes	野尻・渡邊
第4回 8月21日	第11章 Qualitative Research Design and Approaches	小林・深町
	第12章 Integration of Qualitative and Quantitative Designs	渡井・渡邊
	第13章 Sampling Designs	鈴木・松永
第5回 8月28日	第14章 Designing and Implementing a Data Collection Plan	村山・野尻
	第15章 Collecting Self-Report Data	永田・関根
	第16章 Collecting Observational Data	松永
第6回 9月4日	第18章 Assessing Data Quality	渡井・村山
	第19章 Analyzing Quantitative Data: Descriptive Statistics	鈴木
	第20章 Analyzing Quantitative Data: Inferential Statistics	永田・野尻
第7回 9月11日	第21章 Analyzing Quantitative Data: Multivariate Statistics	渡井・村山
	第22章 Designing and Implementing a Quantitative Analysis Strategy	野尻・渡邊
	第23章 Analyzing Qualitative Data	小林
第8回 9月25日	第24章 Summarizing and Sharing Research Findings	戸村
	第25章 Writing a Research Proposal	松永・渡邊

## 4. 教育活動

### (1) 学部講義

#### 1) 地域看護学 3年後期 ・ (4単位)

担当： 村嶋幸代 / 永田智子 / 田口敦子

期間： 平成 18 年 10 月 19 日 ~ 平成 18 年 11 月 30 日 木曜日 13:00 ~ 16:10  
 平成 18 年 12 月 6 日 ~ 平成 19 年 1 月 31 日 水曜日 9:00 ~ 12:10

日程	テーマ	担当
10月19日 (木)	地域看護学の概念、対象と機能、動向	村嶋
10月26日 (木)	休講(日本公衆衛生学会のため)	
11月9日 (木)	母子保健活動論 / 地域アセスメント	田口・永田
11月16日 (木)	感染症と危機管理	原
11月30日 (木)	地域看護の展開事例	小林
12月13日 (水)	演習 世田谷区玉川地区の地域アセスメント	田口・村嶋・永田
12月20日 (水)	成人保健活動論	錦戸
2007年		
1月10日 (水)	在宅看護論 1	角田
1月17日 (水)	在宅看護論 2	村嶋
1月24日 (水)	在宅看護論 3	角田
1月31日 (水)	地域アセスメント発表会 / 地域看護の展望	中村・田口・永田・村嶋

#### 講師

小林政子 世田谷区世田谷保健所健康推進課 係長  
 原 綾子 東京都健康安全研究センター疫学情報室 主任研究員  
 錦戸典子 東海大学健康科学部看護学科 教授  
 角田直枝 訪問看護振興財団認定看護師教育課程訪問看護学科 主任教員  
 中村京子 世田谷区玉川総合支所 保健師



2) 老人地域看護学 4年前期 (2単位)

担当： 村嶋幸代 / 永田智子

期間： 前期 平成18年4月5日～5月10日

毎水曜日9:00～12:10(4月18日は終日)

日程	講義題目	(担当)
4月5日(水)	老人地域看護学の枠組み・課題	村嶋
4月12日(水)	病院から地域へ 退院支援 ステーション実習オリエンテーション	柳澤 / 村嶋 / 永田
4月17日(月)(終日)	訪問看護ステーション見学実習( )	
4月19日(水)	訪問看護ステーション実習報告 / これからの訪問看護	村嶋 / 田口 / 永田
4月26日(水)	介護保険制度 / 介護予防・リハビリテーション	村嶋
5月1日(月)	難病患者への地域看護活動	小西
5月10日(水)	ケアマネジメント	村嶋 / 永田

非常勤講師 柳澤 愛子 東京大学医学部附属病院地域医療連携部  
小西かおる 昭和大学保健医療学部看護学科地域・在宅看護学

訪問看護ステーション見学実習

実習施設

小石川医師会訪問看護ステーション	(2名)
東京都看護協会千駄木訪問看護ステーション	(2名)
訪問看護ステーションけせら	(2名)
浅草医師会立訪問看護ステーション	(2名)
セコム世田谷訪問看護ステーション	(2名)
セコム成城訪問看護ステーション	(2名)

3) 保健指導論 4年前期 (2単位)

担当： 村嶋幸代 / 田口敦子 / 永田智子

期間： 前期 平成18年4月6日～5月11日 13:00～16:10

4月10日(月)、4月24日(月)、5月8日(月)は9:00～12:10

4月6日(木)	保健指導概論	( 村嶋 )
	保健指導の方法：個別指導(健康相談、健診事後指導)	
4月10日(月)	保健指導の方法：地区組織活動・グループ支援	( 村嶋 )
	集団指導の立案(演習)	( 田口 )
4月13日(木)	保健指導の方法：家庭訪問 健康診査	( 上野 )
4月24日(月)	保健指導の実際：個別指導(成人事例、演習)	( 松田 )
4月27日(木)	保健指導の実際：医療保険制度改正と保健指導	( 松田 )
	保健指導の実際：地域の危機管理	( 村嶋 )
5月8日(月)	保健指導の実際：家庭訪問、健康診査(乳幼児事例)	( 上野 )
5月11日(木)	保健指導の実際：集団指導の実施(演習)	( 村嶋、永田、田口 )

---

講師 上野昌江 大阪府立看護大学 地域看護学 教授  
松田一美 (財)社会保険健康事業財団 保健部 部長

4) 看護学の基礎と展開(総合科学：人間・環境一般)

対象：駒場学生

期日：平成18年7月6日

内容：病院という資源を効果的に使うために - 早期退院に向けた取り組み(永田)

5) 健康科学・看護学概論

対象：健康科学・看護学科 学生

期日：平成18年12月19日

内容：地域看護学が目指すもの(村嶋)

## (2) 学部実習

[4年生]

期間：平成18年11月20日(月)～12月1日(金)

実習施設

練馬区関保健相談所(2名)

世田谷区世田谷総合支所(3名)

世田谷区砧総合支所(2名)

### (3) 大学院特論

#### 1) 地域看護学特論

担当：村嶋幸代 / 永田智子 / 吉田亨（群馬大学医学部保健学科）

日程：火曜日または金曜日 時間は日程表参照

内容：地域におけるケアマネジメントの理論・実践・研究について学ぶ。

また、地域看護活動の方法論の一つである地域組織活動の理論と応用を学ぶとともに、地域看護学の研究方法の一つであるエスノグラフィームソッドについて学ぶ。

主なテキスト：Cohen EL, Cesta TG. Nursing Case Management: From Essentials to Advanced Practice Applications. Mosby, 2005

	オリエンテーション, 打ち合わせ	(村嶋)
5月16日(火) 13:30~16:30	文献輪読・討議	(村嶋)
26日(金) 13:30~16:30	地域における組織活動論 (歴史と理論)	(吉田)
30日(火) 13:30~16:30	文献輪読・討議	(村嶋)
6月9日(金) 13:30~16:30	地域における組織活動論 (活動の実際)	(吉田)
13日(火) 13:30~16:30	文献輪読・討議	(村嶋)
23日(金) 9:30~12:30	エスノグラフィームソッド	(麻原)
7月7日(金) 13:30~16:30	地域における組織活動論 (ヘルスプロモーション)	(吉田)

#### 2) 行政看護学特論

担当：村嶋幸代・田口敦子

日程：火曜日 時間は日程表参照

内容：地域看護の上級実践である地区診断についての理解を深め、地域のアセスメント、問題の発見、優先順位の設定、対策立案、実施、評価を、修士レベルの教科書を使いながら学ぶ。

主なテキスト：Naomi E Ervin. Advanced Community Health Nursing Practice. Prentice Hall, 2002.

4月25日(火) 14:30~16:10	オリエンテーション・打ち合わせ
5月9日(火) 13:30~16:30	文献輪読・討議
5月23日(火) 13:30~16:30	文献輪読・討議
6月6日(火) 13:30~16:30	文献輪読・討議
6月20日(火) 13:30~16:30	文献輪読・討議
6月27日(火) 13:30~16:30	文献輪読・討議
7月4日(火) 13:30~16:30	文献輪読・討議
7月11日(火) 13:30~16:30	文献輪読・討議

### 3) 地域看護学特論

担当：村嶋幸代 / 永田智子

日程：平成 18 年 10 月 3 日～12 月 12 日 原則として火曜日 時間は日程表参照

目的：地域看護学に関する研究の現状と課題について、特に在宅ケアを中心として学ぶ。  
また、地域看護学研究の方法論についても学ぶ。

10月3日(火)14:30～15:30	オリエンテーション, 打ち合わせ	(村嶋・永田)
10月6日(金)18:00～20:00	保健師による保健指導の動向と課題	(宮崎)
10月17日(火)13:30～16:30	対人サービスの評価	(田上)
11月7日(火)13:30～16:30	在宅ケアの社会経済的効果	(田上)
11月14日(火)13:30～16:30	地域ケアの評価	(田上)
12月4日(月)13:30～16:30	コミュニティケアの新しい視点 CBPR と組織的知識創造モデル	(麻原)
12月12日(火)13:30～16:30	在宅ケア・継続看護に関する研究の実際	(永田)

講師 田上 豊 三菱総合研究所 主席研究員  
麻原きよみ 聖路加看護大学 教授  
宮崎美砂子 千葉大学看護学部 教授

### 4) 行政看護学特論

担当：村嶋幸代

日程：平成 18 年 10 月 3 日～12 月 19 日 火曜日 13:30～16:30 \* 10 月 13 日のみ金曜日 18:30～20:30

内容：国や自治体の政策形成のしくみ、自治体の政策立案や制度の運用・評価方法について学び、  
保健師の施策化への関わり方を理解する。また、研究者として施策化にどのように関わる  
ことができるかを考える。

10月3日(火)	オリエンテーション	村嶋 幸代
10月10日(火)	輪読	村嶋 幸代
10月13日(金)	地域包括支援センターの政策理念とその展開	高橋 紘士
10月31日(火)	行政学概論	森田 朗
11月21日(火)	保健師活動と施策化	堀井 とよみ
11月28日(火)	看護研究と施策化	村嶋 幸代
12月19日(火)	輪読	村嶋 幸代

#### 講師

森田 朗 東京大学 法学政治学研究科 教授 (公共政策大学院院長)  
堀井 とよみ 滋賀県立大学 人間看護学部人間看護学科 教授  
高橋 紘士 立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科 コミュニティ福祉学部 教授

#### (4) 大学院実習

[ 修士1年：保健師コース ]

1) 地域診断・活動展開実習

-東京都世田谷区の母子に焦点をあてて-

期間：2006年9月4日～9月29日

実習施設：世田谷区 玉川総合支所 健康づくり課(1名)

-過疎地の高齢者に焦点をあてて-

期間：2006年9月4日～9月27日

実習施設：上越市 三和区総合事務所 福祉グループ (1名)

2) 地域ケアマネジメント実習

期間：2006年年11月27日～12月8日

実習施設：港区 みなと保健所 保健予防課 予防係 (1名)

期間：2006年12月4日～12月15日

実習施設：新潟県 上越地域振興局健康福祉環境部 地域保健課 (1名)

3) 継続家庭訪問実習

期間：2006年4月27日～2007年4月3日

実習施設：東京都在宅重症心身障害児訪問看護事業 東部訪問看護事業部(2名)

[ 修士1年：看護師コース ]

1) 訪問看護ステーション見学実習

期間：2006年10月2日～10月6日

実習施設：浅草医師会立訪問看護ステーション (1名)

## (5) 卒業論文

島村珠枝 (指導教員: 村嶋幸代, 田口敦子)

多剤耐性結核患者の病気の受けとめと入院生活で感じていること

## (6) 修士論文

福井郁子 (指導教員: 村嶋幸代)

小児がん経験者が仕事を続けるための対処行動

## (7) 博士論文

有本梓 (指導教員: 村嶋幸代)

複数の専門職・地域住民と協力して個別支援を行う行政保健師の専門技術の明確化 児童虐待予防の支援事例を焦点にあてて

## 5. 学内での活動

### (1) 委員会活動

村嶋幸代

医学系研究科健康科学看護学専攻 専攻長

平成 15 年 4 月 ~

東京大学医学部附属病院看護体制委員会 委員

平成 18 年 5 月 ~

東京大学 男女共同参画室 副室長

平成 18 年 10 月 ~

東京大学 環境整備部会 部会長

平成 18 年度 ~

永田智子

医学部健康科学・看護学科 書記・庶務委員

平成 18 年 4 月 ~ 平成 19 年 3 月

### (2) その他

渡井いずみ

ティーチング・アシスタント(TA)

平成 17 年 4 月 ~ 平成 18 年 3 月

### (3) 教室内での役割分担

抄読会係 村山洋史, 深町美那穂, 関根綾希子

親睦会係 松永篤志, 村山洋史

研究会係 小林小百合, 村山洋史, 戸村ひかり, 渡邊麻衣子

## 6. 学会における活動

村嶋幸代

日本地域看護学会

評議員

平成 12 年 6 月 ~

理事

平成 12 年 6 月 ~

国際活動推進委員会 委員

平成 15 年 6 月 ~ 平成 18 年 8 月

研究活動推進委員会 委員長

平成 18 年 9 月 ~

日本公衆衛生学会

評議員

平成 8 年 7 月 ~

理事

平成 14 年 9 月 ~

公衆衛生看護のあり方委員会

平成 14 年 9 月 ~

委員長

平成 17 年 9 月 ~

日本看護科学学会

第 27 回学術集会長

平成 17 年 11 月 ~

日本ケアマネジメント学会

評議員

平成 13 年 7 月 ~

日本民族衛生学会

評議員

平成 4 年 10 月 ~

日本老年医学会

学術評議員

平成 15 年 4 月 ~

Public Health Nursing (Journal)

Reviewer

平成 12 年 6 月 ~

Sigma Theta Tau. Alpha Kappa Chapter-at-Large

(University of Colorado and Regis University joint chapter)

Member

平成 12 年 12 月 ~

International Conference on Community Health

Nursing Research

Member

平成 7 年 ~

American Public Health Association

Member

平成 8 年 ~

永田智子

第 27 回日本看護科学学会学術集会企画委員

平成 18 年 12 月 ~

田口敦子

第 27 回日本看護科学学会学術集会企画委員

平成 18 年 12 月 ~

## 7. 社会的活動

村嶋幸代

厚生省医療関係者審議会専門委員（保健師助産師看護師部会員）

保健師国家試験KV委員 平成17年11月～

日本看護系大学協議会

幹事 平成17年4月～

看護学評価機関検討委員会 委員長 平成17年4月～

高等教育行政対策委員会 委員 平成17年6月～

高度実践看護師制度検討委員会 委員 平成17年6月～

保健師教育検討会 平成17年12月～

全国保健師教育機関協議会

会長 平成18年4月～

日本學術振興会

特別研究員等審査会専門委員 平成17年8月～

国際事業委員会書面審査員 平成17年8月～

財団法人医療科学研究所研究助成審査委員

評議員 平成9年～

平成15年6月～

財団法人日本訪問看護振興財団

研究助成金審査委員長 平成12年度～

財団法人中山科学振興財団

評議員 平成16年度～

東京都介護認定平準化推進委員会

委員 平成17年度

永田智子

文京区介護保険認定審査会委員 平成17年4月～平成19年3月

日本看護系大学協議会 平成17年度～

看護学教育評価機関検討委員会



## 8. 教室日誌

- |       |        |  |
|-------|--------|--|
| 2006年 | 4月1日   | 斉藤真美事務員採用  |
|       | 4月11日  | ウェルカムランチ (研究室)   |
|       | 7月15日  | 教室同窓会 (医学部教育研究棟)<br>懇親会 (東大構内「Capo PELLICANO」)           |
|       | 12月19日 | 忘年会(本郷「とり鉄本郷店」)  |
| 2007年 | 3月6-9日 | Dr. Lis Wagner 来日  |
|       | 3月7日   | 教室研究会 兼 東京医学会講義 (医学部教育研究棟)<br>懇親会 (東大構内「Capo PELLICANO」) |
|       | 3月20日  | 送別会 (本郷「Takichi」)  |

## 9. 教室員名簿 (2006 年度)

教授	村嶋幸代		
非常勤講師	田上豊 上野昌江	吉田亨 錦戸典子	麻原きよみ
講師	永田智子		
助手	田口敦子		
事務員	堀美奈子 片田道子	山口千鶴子	斉藤真美
大学院生 (博士課程)	有本梓 村山洋史 武内奈緒子(休学中)	小林小百合	渡井いずみ
大学院生 (修士課程)	福井郁子 深町美那穂 鈴木樹美 成瀬昂・木村直子・廣田真由美 (休学中)	戸村ひかり 松永篤志 関根綾希子	野尻直美 渡邊麻衣子
研究生	横山由美		
客員研究員	上原ます子 斉藤恵美子 玉木健太郎 服部真理子 山口絹世	小澤乃智子 島田陽子 田畑まりえ 本田亜起子 吉岡京子	小西かおる 鷺見尚己 中川泉 岡田麻里
教室研究生	伊藤麻子 當山紀子	大沼明美 川崎千恵	白戸舞 長弘佳恵
卒論生	渡邊るい	島村珠枝	